

基本情報		
1.所属	1-1.組織名	Aizoon合同会社
	1-2.部署名	システム開発担当
	1-3.組織の住所	〒272-0142 千葉県市川市欠真間一丁目11番25号
2.担当者	2-1.役職	代表補佐
	2-2.氏名	藍澤 和博
3.連絡先	3-1.電話	050-8886-8264
	3-2.メールアドレス	info@aizoon.jp
4.関連ホームページ	4-1.HP①	https://aizoon.jp
	4-2.HP②	
	4-3.HP③	
支援内容		
5.支援領域	5-1.選択式	☐ 資源評価・管理に向けた支援 ☒ 水産業の成長産業化に向けた支援 ☐ 漁村の活性化に向けた支援 ☒ 省人化・省力化に向けた支援 ☐ その他
	5-2.その他の詳細	
6.デジタル化支援の可否		☒ 可 ☐ 不可
7.活動・連携エリア	7-1.エリア情報	☒ 全国 ☐ 北海道地区 ☐ 東北地区 ☐ 関東地区 ☐ 中部地区 ☐ 近畿地区 ☐ 中国地区 ☐ 四国地区 ☐ 九州地区 ☐ 沖縄地区
	7-2.具体的なエリア情報	
提供可能な支援内容		
8.提供可能な分野	8-1.選択式	☐ 資源管理 ☐ 生産（遠洋漁業） ☐ 生産（沿岸漁業） ☐ 生産（沖合漁業） ☒ 生産（養殖業） ☐ 加工 ☒ 流通 ☒ 消費 ☐ 観光 ☐ 海業 ☐ その他
	8-2.その他の詳細	
9.支援方法	9-1.選択式	☒ デジタル化領域におけるコンサルティングの提供 ☒ デジタル化に関する商品やサービスの提供 ☐ 共同研究や実証に関する相談 ☐ その他
	9-2.その他の詳細	
10.支援方法で「デジタル化に関する商品やサービスの提供」を選択した場合の詳細	10-1.選択式	☐ 資源評価・管理に関するデジタル化支援 ☒ 水産業の成長産業化に関するデジタル化支援 ☐ 漁村の活性化に関するデジタル化支援 ☐ その他
	10-2.その他の詳細	
11.支援内容の詳細①	11-1.支援タイトル	産地直送ECの受発注業務のシステム化
	11-2.課題解決の方向性	電話・LINE・メールで受けた注文を手作業で転記している状態を、注文フォームからの受付と自動処理に置き換え、転記作業と確認漏れをなくします。
	11-3.具体的な支援内容	業務のヒアリングと要件整理から着手し、注文受付、地域別送料を含む価格の自動計算、オンライン決済、産地への出荷指示、出荷確定、発送通知、領収書発行、管理画面、操作履歴の記録までを一体で構築します。生鮮品特有の要件（配送希望日・時間帯の指定、生食用の取扱いに関する同意取得）にも対応します。産地側へ渡す情報から価格と顧客連絡先を除くなど、関係者ごとに見える情報を分ける設計も行います。
	11-4.料金モデル	開発費用＋公開後の月額保守・運用費用。規模・要件に応じた個別見積。最小構成から段階的に広げる進め方にも対応します。単独でのご依頼も可能です。
12.支援内容の詳細②	12-1.支援タイトル	生成AIを活用した業務の省力化
	12-2.解決の方向性	手入力に時間がかかっている作業を、生成AIで下書きまで自動化します。誤りが実害につながる判断はAIに任せず、必ず人が確認してから確定する設計とします。
	12-3.具体的な支援内容	ECサイト等で掲載する出品情報を商品写真から生成するなど、定型的文章作成を自動化するツールの開発実績があります。どこを機械に任せ、どこを人が確認するかの線引きから設計し、確認を省略できない箇所は仕組みとして省略できないようにします。導入手順書を整備し、現場が自分たちで運用できる状態まで引き渡します。
	12-4.料金モデル	開発費用＋月額保守・運用費用。既存業務への部分導入から着手する形にも対応します。単独でのご依頼も可能です。
13.支援内容の詳細③	13-1.支援タイトル	輸出・インバウンド向けの多言語表示
	13-2.課題解決の方向性	商品情報を多言語で発信したいが、翻訳のたびに外部依頼が必要で更新が止まる、という状態を解消します。
	13-3.具体的な支援内容	管理画面から生成AIで翻訳を生成し、そのまま多言語ページへ反映できる仕組みを実装します。産地直送ECでは中国語（簡体字）版のページを公開し、商品名・商品説明の翻訳を管理画面から生成・保存する形で運用しています。
	13-4.料金モデル	開発費用＋月額保守・運用費用。既存サイト・既存システムへの追加としても対応可能です。単独でのご依頼も可能です。
14.支援内容の詳細④	14-1.支援タイトル	問い合わせ・注文の一次対応の自動化
	14-2.課題解決の方向性	少人数で現場を回している事業者では、電話やメッセージへの返答が後回しになり、機会損失や連絡漏れが起きます。よくある質問への一次回答と担当者への引き継ぎを自動化し、現場作業を止めずに対応できる状態をつくります。

	14-3.具体的な支援内容	あらかじめ用意した回答で答えられるものは自動で返し、判断が必要なものは要点を整理して担当者へつなぐ形で設計します。在庫や出荷の状況など、誤った回答が実害につながる内容は自動回答の対象から外し、必ず人が答える線引きを行います。
	14-4.料金モデル	開発費用＋月額保守・運用費用。対応範囲を絞った小規模構成からの導入にも対応します。単独のご依頼も可能です。
15.支援内容の詳細⑤	15-1.支援タイトル 15-2.課題解決の方向性 15-3.具体的な支援内容 15-4.料金モデル	
支援実績		
16.支援実績例①	16-1.時期 16-2.場所 16-3.支援した対象者 16-4.その他関係団体 16-5.提供した支援内容 16-6.支援効果 16-7.概算の経費	2026年3月～現在（継続中） 福岡県福岡市（産地）／全国配送 牡蠣養殖業者（小規模事業者） 決済事業者、配送事業者 産地直送ECの受発注システムを新規開発し、本番運用中です（https://premium-oyster.com／運営主体は発注元事業者様）。注文受付、地域別送料を含む価格の自動計算、オンライン決済、産地へのお荷指示、出荷確定、発送通知、領収書発行、管理画面、操作履歴の記録までを一元化しました。生鮮品特有の要件として、配送希望日・時間帯の指定、生食用の取扱いに関する同意取得（保存方法・食中毒リスク・加熱推奨対象の明示を含む）、第三者検査機関による試験成績証明書の掲載に対応しています。公開後も稼働監視、脆弱性対応、機能改修を継続して担当しています。従来はLINEでの個別のやり取りと手作業での確認により受注処理を行っていましたが、決済完了後の産地への情報伝達が自動化され、転記作業がなくなりました。出荷側は撮影とボタン操作のみで出荷確定と顧客への通知が完了します。産地側へ渡す情報から価格と顧客連絡先を除く設計としており、関係者ごとに必要な情報だけが届く運用になっています。開発費用（個別見積）。公開後の保守運用については、年間保守として別途ご提案しています。
17.支援実績例②	17-1.時期 17-2.場所 17-3.支援した対象者 17-4.その他関係団体 17-5.提供した支援内容 17-6.支援効果 17-7.概算の経費	
18.支援実績例③	18-1.時期 18-2.場所 18-3.支援した対象者 18-4.その他関係団体 18-5.提供した支援内容 18-6.支援効果 18-7.概算の経費	
19.支援実績例④	19-1.時期 19-2.場所 19-3.支援した対象者 19-4.他関係団体 19-5.提供した支援内容 19-6.支援効果 19-7.概算の経費	
20.支援実績例⑤	20-1.時期 20-2.場所 20-3.支援した対象者 20-4.その他関係団体 20-5.提供した支援内容 20-6.支援効果 20-7.概算の経費	
その他		
21.その他	備考・アピール事項等	千葉県市川市の事業者です。代行業（物販代行・事務代行）を本業としており、自分たちが日々手を動かしている側であることが特徴です。現場でどこに手間がかかるかを知ったうえで設計します。水産分野では、牡蠣養殖業者の産地直送ECを本番運用しており、生鮮品特有の要件に対応した実装経験があります。公開して終わりにせず、稼働監視と保守運用を継続して担当しています。小規模事業者向けに、要件の整理から開発、公開後の運用保守までを一貫して担当します。「何をシステム化すればよいか分からない」という段階からのご相談も歓迎します。作らないほうがよい場合は、そのようにお伝えします。
水産庁ホームページへの掲載の可否		
22.水産庁ホームページへの掲載の可否		☒ 可 ☐ 不可